

平成30年度

# 教員免許状更新講習

受講者募集要項

仁愛大学

JIN-AI UNIVERSITY

# 教員免許状更新講習 受講申込までの手続き

## 1. 本学の開設講習を選んでください。

本募集要項や本学のホームページで、開設講習を選択してください。  
なお、講習によっては、主たる受講対象となる教員の校種が定められている場合があります。

- ◆詳細は11～29ページの『講習概要』を参照ください。
- ◆本学のホームページアドレス <http://www.jindai.ac.jp>



## 2. 受講申込書等に必要事項を記入し、郵送してください。

受講する講習の申込をします。①、②、③の書類を本学ホームページの「教員免許状更新講習」からダウンロードし、必要事項を記入のうえ、申込受付期間内に特定記録郵便にて郵送してください。

① 受講申込書  
A4両面・3枚  
(1/5～5/5)

③ 事前アンケート  
(受講する講習名を全て1枚に  
記入し作成してください)

② 写真票

※ 受講料（銀行振込）  
※6月上旬に受講票とともに  
振込用紙を同封いたします。



[受講申込までの手続き]

申込受付期間	平成30年4月2日(月)～平成30年5月7日(月)
中間締切日	平成30年4月5日(木) 必着
最終締切日	平成30年5月7日(月) 当日消印有効

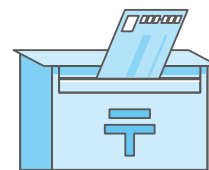
- ◆申込受付期間は上記のとおり平成30年4月2日(月)～平成30年5月7日(月)ですが、平成30年4月5日(木)必着の時点で1度締切らせていただきます。
- ◆中間締切日時点で、受講希望者が定員を大幅に超過した講習については抽選となる場合があります。
- ◆抽選となった場合は、抽選に漏れた方のみ4月11日(水)までに電話連絡します。
- ◆中間締切日時点で定員に達した講習は、最終締切日を待たずに募集を締切りますのでご了承ください。また、中間締切日時点で定員に空きのある講習につきましては、引き続き募集を行います。
- ◆詳細は6～8ページの『受講申込』を参照ください。

## 3. 本学から「受講票」と「振込用紙」が届きます。

本学から受講申込者に「受講票」と「振込用紙」を発送します。

- (1) 必修講習、選択必修講習、選択講習(講習コード302、306、310)の場合は、申込書類が提出され、受講が決定しましたら、6月上旬に受講番号を付した「受講票」を郵送します。
- (2) 選択講習(講習コード302、306、310以外)の定員を超え、開講が決定しましたら、6月上旬に受講番号を付した「受講票」を郵送します。
- (3) 同封された振込用紙にて、到着後1週間以内に最寄りの金融機関にてお振込みください。

- ◆詳細は9ページの「受講票、振込用紙の送付」を参照ください。



## 目次

1	教員免許更新制の概要	2
2	受講対象者	2
3	開設講習	4
4	受講申込	
	1 受講申込方法	6
	2 申込受付期間	7
	3 受講料	8
	4 個人情報の取扱いについて	8
5	受講票、振込用紙の送付	
	1 必修講習・選択必修講習・選択講習(講習コード302、306、310)の場合	9
	2 選択講習(講習コード302、306、310以外)の場合	9
	3 受講料振込みについて	9
6	受講上の注意事項	
	1 持参物・受付	9
	2 受講のキャンセル	10
	3 講習の中止	10
7	履修認定試験	10
8	事後評価アンケート	10
9	履修証明書の発行	10
	講習概要	11～29
	本学へのアクセス／学内見取り図	30

## 1 教員免許更新制の概要

教員免許更新制とは、教員免許状を更新するため、教員養成の認定課程を有する大学等が実施する免許状更新講習を、修了確認期限前の2年間で30時間以上受講・修了し、免許管理者に申請して修了確認を受ける制度です。

仁愛大学は、教員として必要な最新の知識・技能の習得を目的とした教員免許状更新講習を開講いたします。

## 2 受講対象者（※新免許状・旧免許状共通）

平成30年度教員免許状更新講習の受講対象者は、普通免許状または特別免許状を有する方で、次の①～⑫のいずれかに該当し、修了確認期限が平成31年3月31日あるいは平成32年3月31日の方です。

- ① 現職教員（校長、副校長、教頭を含む。ただし、指導改善研修中の者を除く）
- ② 実習助手、寄宿舎指導員、学校栄養職員、養護職員
- ③ 教育長、指導主事、社会教育主事、その他教育委員会において学校教育又は社会教育に関する指導等を行う者
- ④ ③に準ずる者として免許管理者が定める者
- ⑤ 文部科学大臣が指定した専修学校の高等課程の教員
- ⑥ 上記に掲げる者のほか、文部科学大臣が別に定める者、また、今後教員になる可能性が高い者
- ⑦ 教員採用内定者
- ⑧ 教育委員会や学校法人などが作成した臨時任用（または非常勤）教員リストに登録されている者
- ⑨ 過去に教員として勤務した経験のある者
- ⑩ 認定こども園で勤務する保育士
- ⑪ 認可保育所で勤務する保育士
- ⑫ 幼稚園を設置する者が設置する認可外保育施設で勤務している保育士も更新講習を受講することができます。

### 旧免許状所持者

平成21年3月31日までに教諭等の普通免許状・特別免許状を授与されている方

### 新免許状所持者

平成21年4月1日以降に最初の教諭等の普通免許状・特別免許状を授与されている方

平成21年3月31日以前に普通免許状・特別免許状を授与されている方は、平成21年4月1日以降に新たな免許状を授与されたとしても「旧免許状所持者」となります。

●平成21年3月31日までに授与された教諭免許状又は養護教諭免許状を持つ方  
(栄養教諭免許状を持つ方を除く)

表1

受講対象者の生年月日	修了確認期限	免許状更新講習受講期間及び更新講習修了確認申請期間
昭和38年4月2日～昭和39年4月1日	平成31年3月31日	平成29年 2月 1日 ～平成31年 1月31日
昭和48年4月2日～昭和49年4月1日		
昭和58年4月2日～昭和59年4月1日		
昭和39年4月2日～昭和40年4月1日	平成32年3月31日	平成30年 2月 1日 ～平成32年 1月31日
昭和49年4月2日～昭和50年4月1日		
昭和59年4月2日～		

※更新講習の受講義務がある方のうち、最初の修了確認期限が、所持する免許状の授与を受けた日から10年を経過していない場合は、修了確認期限の延期の申請を行うことができます。なお、昭和30年4月1日以前に生まれた方については、栄養教諭免許状を持っていない限り、最初の修了確認期限は設定されていませんので、更新講習を受講・修了しなくても、今後もお持ちの教員免許状は有効となります。また、昭和30年4月1日以前に生まれた方で、栄養教諭免許状を持っている方は、表2のとおり免許状取得年月日による修了確認期限が設定されます。

●栄養教諭免許状を持つ方の修了確認期限

表2

免許状が授与された日	修了確認期限	免許状更新講習受講期間及び更新講習修了確認申請期間
平成20年4月1日から平成21年3月31日までに栄養教諭の普通免許状を授与された旧免許状所持者	平成31年3月31日	平成29年 2月 1日 ～平成31年 1月31日

栄養教諭免許状は平成16年度に創設された免許状であるため、表1のように修了確認期限を割り振ると、栄養教諭免許状をお持ちの方の修了確認期限はその方が栄養教諭免許状を授与された日から10年を超えない場合がほとんどになってしまいます。

そのため、平成21年3月31日までに授与された栄養教諭免許状をお持ちの方については、表2のように、免許状を授与された日から10年後の年度末を最初の修了確認期限と設定しています。

※平成21年3月31日までに教諭又は養護教諭の免許の授与を受けたことがあり、平成21年4月以降に栄養教諭免許状を授与された方については、表1に従って修了確認期限が割り振られます。その方のうち、栄養教諭としてお勤めの現職教員の方は、表1によって割り振られる最初の修了確認期限の日が、栄養教諭免許状を授与された日から10年を経過していない場合に、修了確認期限の延期の申請を行うことができます。

また、更新講習の受講義務がある方のうち、栄養教諭免許状の授与を受けた後に他の免許状を授与された場合など、最初の修了確認期限の日が最新の免許状を授与された日から10年を経過していない場合は、修了確認期限の延期の申請を行うことができます。

→修了確認期限の延期については福井県学校振興課へお問い合わせください。

### 旧免許状をお持ちの方へ

旧免許状の場合、現在就いている職又は今後就くことを希望している職(対象職種(免許種))に対応した講習を受講・修了することで、複数の免許状(対象職種(免許種)が異なる場合を含む。)を全て更新することができます(必修領域、選択必修領域と合わせて合計30時間以上)。また、旧免許状所持者で平成21年3月31日までに授与された栄養教諭免許状を持つ方(現在、栄養教諭以外の職でお勤めの方も該当)については、栄養教諭免許状の授与日によって、最初の修了確認期限が設定されています。平成20年4月1日～平成21年3月31日の間に栄養教諭免許状を授与された方は平成31年1月31日が、免許状更新講習修了確認の申請期限となっています。

### 新免許状をお持ちの方へ

新免許状の場合、対象職種(免許種)(教諭(幼稚園教諭、小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭、特別支援学校教諭)、養護教諭、栄養教諭)のそれぞれの「免許状の種類」に対応した講習を受講・修了することが必要となります。ただし、1つの講習が教諭、養護教諭、栄養教諭の複数の対象職種(免許種)に対応したものであれば、当該講習をもって教諭、養護教諭、栄養教諭の複数の免許状の更新をすることができます。

- ※上記のいずれの場合でも、対象職種(免許種)の異なる選択領域講習を混ぜて受講することはできません。
- ※また、対象職種(免許種)とは別に、「主な受講対象者」が定められていることがありますが、「主な受講対象者」に該当していない場合でも、当該講習を受講することができます。
- ※学校種及び教科等については特段の定めはありませんので、実際に担当している学校種及び教科などを踏まえ、受講者本人で選択します。
- ※必修領域の受講に際しては、免許状の種類、職にかかわらず共通に受講します。

## 3 開設講習

※平成28年4月から免許状更新講習の内容が変わり、新たに「選択必修領域」が導入されました。よって、「必修領域(6時間)＋選択必修領域(6時間)＋選択領域(18時間)」合計30時間の履修が必要となります。

### 【必修領域：1講習】

講習コード	講習名	担当講師	時間数	定員	開設日	主な受講対象者	掲載ページ
101	教育現場の質をより高めるために (主として幼稚園教諭対象)	下記参照	6時間	200人	8/6(月)	主として 幼稚園教諭	P12

担当講師：石川昭義、森 俊之、鈴木智子、高野秀晴

【選択必修領域：5講習】

講習コード	講習名	担当講師	時間数	定員	開設日	主な受講対象者	掲載ページ
201	異文化理解と多文化共生	加藤 優子	6時間	40人	8/7(火)	幼稚園教諭 小学校教諭	P14
202	いじめに負けない幼児を育てる教材開発 －紙芝居教材の開発－	大野木裕明 伊東 知之	6時間	40人	8/8(水)	幼稚園教諭 小学校教諭	P15
203	道德教育の今日的課題	高野 秀晴	6時間	40人	8/8(水)	幼稚園教諭 小学校教諭 中学校教諭	P16
204	学校における様々な問題への組織的対応と危機管理上の課題	笠原 茂子	6時間	40人	8/9(木)	幼稚園教諭 小学校教諭	P17
205	学校・家庭・地域の連携・協働を考える	青井 夕貴	6時間	40人	8/9(木)	幼稚園教諭 小学校教諭	P18

【選択領域：11講習】※開講最少受講者数は10名です。(講習コード302、306、310以外)

講習コード	講習名	担当講師	時間数	定員	開設日	主な受講対象者	掲載ページ
301	音楽の世界 ー理論と歴史からー	中野 研也	6時間	50人	8/10(金)	幼稚園教諭 小学校教諭	P19
302	給食経営管理・食品衛生について	樽井 雅彦 野村 卓正	6時間	40人	8/10(金)	小学校教諭 栄養教諭	P20
303	星とのコミュニケーション ー子どもたちの天体に対する興味・関心に応えるためにー	宮川 祐一	6時間	25人	8/17(金)	主に小学校教諭 (幼稚園教諭も可)	P21
304	子どもの運動と食育の実践	佐藤 真実 出村 友寛	6時間	40人	8/17(金)	栄養教諭 幼稚園教諭	P22
305	幼小接続を視野に入れた理科・算数科の授業	木曾 利雄 西出 和彦	6時間	40人	8/20(月)	幼稚園教諭 小学校教諭	P23
306	食育を支える科学的根拠と実践のための理論と方法	山本 浩範	6時間	50人	8/20(月)	幼稚園教諭 小学校教諭 中学校教諭 栄養教諭 栄養職員	P24
307	“気がかりな子ども”を心理学的に考える	森 俊之 久保 陽子	6時間	40人	8/22(水)	幼稚園教諭 小学校教諭 中学校教諭 高等学校教諭 養護教諭	P25
308	幼小連携教育における表現の基礎	伊東 知之 柿本 真代	6時間	50人	8/22(水)	幼稚園教諭 小学校教諭	P26
309	表計算ソフトの活用による校務の効率化	籠谷 隆弘	6時間	40人	8/23(木)	幼稚園教諭 小学校教諭 中学校教諭	P27
310	健康・栄養情報を理解するための講座～食品の消化について～	池田 涼子 石黒真理子	6時間	36人	8/24(金)	小学校教諭 中学校教諭 高等学校教諭 栄養教諭 栄養職員	P28
311	歴史的視座から「日記」教育を考える	柿本 真代	6時間	50人	8/24(金)	小学校教諭 中学校教諭	P29

※ 講習内容の詳細については、上表の掲載ページにてご確認ください。

## 4 受講申込

### 1 受講申込方法

受講する講習の申込をします。①、②、③の書類を本学ホームページの「教員免許状更新講習」からダウンロードし、必要事項を記入のうえ、特定記録郵便にて郵送してください。（窓口への直接の提出はできません。）

※なお、初めて教員免許状更新講習の受講を希望する方は、必修講習1講習、選択必修1講習、選択講習3講習まで同時に申込みことができます。また、仁愛女子短期大学でも必修講習が開設されますが、本学の必修講習との併願はできませんのでご了承願います。

#### ■ 申込書類

書 類 等	備 考
① 受講申込書 A4両面・3枚 (1/5~5/5)	必要事項を記入し、顔写真を貼付のうえ、所属学校（機関）長の証明・押印を受けてください。 顔写真は、正面向、上半身、無帽、縦4cm×横3cm、申込以前3ヶ月以内に撮影した写真を貼付してください。 写真の裏側には名前を記入してください。 複数の講習を同時に申込みれる場合も申込書は1枚です。
② 写 真 票	必要事項を記入し、受講申込書と同じ写真を貼付してください。 写真の裏側には名前を記入してください。 複数の講習を同時に申込みれる場合も写真票は1枚です。 ※写真のコピー、プリクラ、画像を普通紙・コピー用紙に印刷したものは、全て規定外です。
③ 事前アンケート	受講する講習名を全て1枚に記入し作成してください。
※ 受 講 料 (銀行振込)	受講者確定後、6月上旬に郵送する「受講票」(P9参照)とともに、振込用紙を同封いたしますので、 <u>到着後1週間以内に最寄りの金融機関にてお振込み下さい。</u> 振込手数料は、受講者負担とさせていただきます。

注1

申込受付期間に中間締切日【4月5日(木)必着】を設けました。中間締切日時時点で、受講希望者が定員を大幅に超過した講習については抽選となる場合があります。

なお、抽選を行う講習については本学ホームページにて表示しますので各自で確認してください。また、抽選となった場合の受講者の決定については、抽選に漏れた方のみ4月11日(水)までに電話連絡しますので、申込みの際は日中連絡が取れる電話番号を必ず記入してください。

中間締切日時時点で定員に達した講習は、最終締切日を待たずに募集を締切りますのでご了承下さい。また、中間締切日時時点で定員に空きのある講習につきましては、引き続き募集を行います。



- 注2 選択講習（講習コード302、306、310以外）において、申込受付終了時点で申込者が10人に満たない場合は開講しません。この場合、不開講を受講申込者に連絡するとともに、申込書類および受講料全額を返還します。
- 注3 講習ごとの受付状況については、本学ホームページで確認できます。
- 注4 障がい等により特別な支援等が必要となる方は、申込み前に必ず相談してください。
- 注5 定員に達した講習については、その後受講申込があっても受付は行いません。既に定員に達した後の受講申込については、受講申込者に速やかに連絡いたします。

■ **本学教員免許状更新講習ホームページアドレス**

URL : <http://www.jindai.ac.jp>

■ **送付先**

〒915-8586 福井県越前市大手町3-1-1

仁愛大学 学生支援センター 教務課 教員免許状更新講習係

※ 封筒は角2封筒を使用し、表に「教員免許状更新講習申込書在中」と朱書きしてください。

2 **申込受付期間**

申込受付期間	平成30年4月2日(月)～平成30年5月7日(月)
中間締切日	平成30年4月5日(木) 必着
最終締切日	平成30年5月7日(月) 当日消印有効

### 3 受講料

区分	講習コード	講習名	受講料
必修講習 (6時間)	101	教育現場の質をより高めるために(主として幼稚園教諭対象)	6,000円
選択必修講習 (6時間)	201	異文化理解と多文化共生	
	202	いじめに負けない幼児を育てる教材開発 ー紙芝居教材の開発ー	
	203	道徳教育の今日的課題	
	204	学校における様々な問題への組織的対応と 危機管理上の課題	
	205	学校・家庭・地域の連携・協働を考える	
選択講習 (6時間)	301	音楽の世界 ー理論と歴史からー	
	302	給食経営管理・食品衛生について	
	303	星とのコミュニケーション ー子どもたちの天体に対する興味・関心に応えるためにー	
	304	子どもの運動と食育の実践	
	305	幼小接続を視野に入れた理科・算数科の授業	
	306	食育を支える科学的根拠と実践のための理論と方法	
	307	“気がかりな子ども”を心理学的に考える	
	308	幼小連携教育における表現の基礎	
	309	表計算ソフトの活用による校務の効率化	
	310	健康・栄養情報を理解するための講座 ～食品の消化について～	
	311	歴史的視座から「日記」教育を考える	

### 4 個人情報の取扱いについて

提出された申込書類等に記載されている個人情報及び履修認定試験結果等の個人情報については、下記の目的以外には利用しません。

- ① 講習受講及び履修認定に関わる業務。
- ② 都道府県教育委員会より、履修認定に関する照会があった場合。

## 5 受講票、振込用紙の送付

1 必修講習・選択必修講習・選択講習（講習コード302、306、310）の場合  
申込書類が提出され、受講が決定しましたら、6月上旬に受講番号を付した「受講票」を郵送します。

2 選択講習（講習コード302、306、310以外）の場合

注1 講習コード302、306、310以外の選択講習について、受講申込者が10人に満たない場合は、開講しません。

注2 6月中旬になっても「受講票」が届かない場合は、本学 教員免許状更新講習係（0778-27-2026）へご連絡ください。

3 受講料振込みについて

受講者確定後、6月上旬に郵送する「受講票」とともに「振込用紙」を同封いたしますので、到着後1週間以内に最寄りの金融機関にてお振込み下さい。振込手数料は受講者負担とさせていただきます。

## 6 受講上の注意事項

1 持参物・受付

受講当日は、以下のものを持参してください。

1	受講票
2	筆記用具
3	実技を伴う講習に関しては、適した服装等
4	講習に使用する書籍・教材等を受講生自身が準備することが必要な講習もあります。

注1 講習当日は、午前8時30分より、必修講習はA号館、選択必修講習、選択講習はG号館1階 正面入口にて受付を行います。受付の際には、受講票を提示してください。

注2 昼食は各自で準備してください。なお、学内食堂（C号館1階）の営業日は、本学ホームページで表示しますので各自で確認してください。

注3 遅刻、欠席、早退、途中退席は認めません。この場合、履修認定をしません。

## 2 受講のキャンセル

止むを得ず講習を受講できなくなった場合は、受講者の請求に基づいて受講料を返還（指定の金融機関口座に入金）します。その際、返還に係る振込手数料は受講者負担とさせていただきます。講習実施日の前日（土日祝日等業務を行わない日を除く）の午後5時までに電話又はファックスにてその旨をご連絡ください。ただし、当日のキャンセル、講習開始後の早退、受講を途中で止めた場合は、受講料は返還しません。

## 3 講習の中止

- ①暴風警報などの気象警報の発令、台風や地震などの自然災害、公共交通機関の不通や運休、その他本学が講習の中止または延期を必要と認めた場合（担当講師の急病など）には、講習の実施を中止または延期することがあります。本学が講習の中止または延期を決定した場合は、受講者に対し、仁愛大学ホームページにて掲載し、お知らせします。
- ②講習が中止となった場合や受講者が延期による代替日に出席できない場合には、受講料を全額返還します。

## 7 履修認定試験

履修認定は、筆記試験または実技試験などによって最低限の理解が得られ、成績審査に合格したと認められた者に対して行います。成績審査により、最低限の理解が得られていないと判定された場合は不認定とします。

## 8 事後評価アンケート

講習及び試験が終了した後に、免許状更新講習規則第7条に基づく「事後評価アンケート（免許状更新講習受講者評価書）」を実施しますので、提出してください。なお、アンケートの結果については、講習ごとに集約し、文部科学省へ報告します。

## 9 履修証明書の発行

講習実施日（最終受講日）の3週間後を目途に、履修認定の判定結果について通知します。認定された場合は、履修認定証明書を郵送し、不認定と判定された場合は、その旨を通知します。

履修証明書は、免許管理者（勤務する学校（園）所在地の都道府県委員会）に対し、更新講習修了の確認申請をするための添付書類となりますので、大切に保管してください。

- 101—教育現場の質をより高めるために（主として幼稚園教諭対象）
- 201—異文化理解と多文化共生
- 202—いじめに負けない幼児を育てる教材開発 —紙芝居教材の開発—
- 203—道徳教育の今日的課題
- 204—学校における様々な問題への組織的対応と危機管理上の課題
- 205—学校・家庭・地域の連携・協働を考える
- 301—音楽の世界 —理論と歴史から—
- 302—給食経営管理・食品衛生について
- 303—星とのコミュニケーション—子どもたちの天体に対する興味・関心に応えるために—
- 304—子どもの運動と食育の実践
- 305—幼小接続を視野に入れた理科・算数科の授業
- 306—食育を支える科学的根拠と実践のための理論と方法
- 307—“気がかりな子ども”を心理学的に考える
- 308—幼小連携教育における表現の基礎
- 309—表計算ソフトの活用による校務の効率化
- 310—健康・栄養情報を理解するための講座 ～食品の消化について～
- 311—歴史的視座から「日記」教育を考える

区分	講習コード	講習名	開設日
必修	101	教育現場の質をより高めるために (主として幼稚園教諭対象)	平成30年8月6日(月)

担当講師	石川 昭義 (仁愛大学人間生活学部子ども教育学科教授) 森 俊之 (仁愛大学人間学部心理学科教授) 鈴木 智子 (仁愛大学人間生活学部子ども教育学科准教授) 高野 秀晴 (仁愛大学人間生活学部子ども教育学科准教授)
講習時間	9:00~16:20
時間数	6時間
受講料等	6,000円
受講定員	200人
主な受講対象者	主として幼稚園教諭

講習の 目標・ねらい	<p>教育現場の質を高めるために、「教職についての省察」「子どもの変化についての理解」「教育政策の動向についての理解」「幼児の発達と支援」の4つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることがねらいである。なお、本講習は、主として幼稚園教諭を対象とした内容になっている。</p> <p>■教育現場の質をより高めるために</p> <p>テーマ【理想的教師像の歴史の変遷】</p> <p>講習概要：教員に求められる資質能力には、「不易」と「流行」があるとされる。理想とされる教師像が時代とともにどのように変わってきたのか(あるいは変わらなかったのか)を追うことを通じて、今日の教員に求められる資質能力について再検討し、教職のあり方を省察する機会としたい。(担当教員 高野秀晴)</p> <p>テーマ【幼児の発達と支援】</p> <p>講習概要：子どもの発達に関する心理学や脳科学の最新知見について解説する。その中で、自閉症やADHD等の発達障害の症状や原因について理解を深め、そのような子どもに対する関わり方について、とくに幼児期における関わり方を中心に、現実的な対応策を検討する。これらを通して、子どもの発達と特別支援教育のあり方についての省察を促す。(担当教員 森俊之)</p> <p>テーマ【幼児理解を踏まえた指導について考える】</p> <p>講習概要：子どもの発達が個別化し多様化しており、一人一人の特性と発達の課題に応じるという視点が、幼児教育には期待されている。幼児理解におけるカウンセリング・マインドの重要性を指摘するとともに、一人一人の居場所があり、協同的な遊びと学びに繋がるような集団の形成に、教師はどう関わればいいのかについて、「生きる力の基礎」構築という立場から考える。(担当教員 鈴木智子)</p> <p>テーマ【教育政策の動向について】</p> <p>講習概要：「幼稚園教育要領」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(ともに平成29年3月告示)について概要を解説する。幼児教育において育みたい資質・能力、カリキュラムマネジメント、小学校との接続などのキーワードをもとに、幼児期の教育をめぐる昨今の諸課題について考えます。(担当教員 石川昭義)</p>
---------------	--

<p>講習内容・ スケジュール</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9:00～ 9:05 ( 5分) オリエンテーション</li> <li>・ 9:05～10:20 (75分) 講義「理想的教師像の歴史の変遷」(担当教員 高野秀晴)</li> <li>・10:20～10:30 (10分) 休憩</li> <li>・10:30～11:45 (75分) 講義「幼児の発達と支援」(担当教員 森俊之)</li> <li>・11:45～12:30 (45分) 昼食</li> <li>・12:30～13:45 (75分) 講義「幼児理解を踏まえた指導について考える」(担当教員 鈴木智子)</li> <li>・13:45～13:55 (10分) 休憩</li> <li>・13:55～15:10 (75分) 講義「教育政策の動向について」(担当教員 石川昭義)</li> <li>・15:10～15:15 ( 5分) 休憩</li> <li>・15:15～15:25 (10分) 試験配布時間</li> <li>・15:25～16:20 (55分) 筆記試験</li> </ul>
<p>評価方法</p>	<p>講義に関する内容についての筆記試験の結果によって評価する。</p>
<p>連絡事項</p>	<p>特になし。</p>

区分	講習コード	講習名	開設日
選択必修	201	異文化理解と多文化共生	平成30年8月7日(火)
担当講師	加藤 優子 (仁愛大学人間学部コミュニケーション学科准教授)		
講習時間	9:00～16:20		
時間数	6時間		
受講料等	6,000円		
受講定員	40人		
主な受講対象者	幼稚園教諭、小学校教諭		
講習の 目標・ねらい	日本社会の多文化化現象は、教育界に大きな影響を与えつつある。本講習では、国内在住の海外出身者が持つ多様な文化的背景の理解に焦点を当てながら、現在の日本社会にみられる多文化化現象と教育をとりまく事柄を学ぶ。さらに、教育現場における異文化理解に関する教育内容や、その指導方法についても取り扱う。		
講習内容・ スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9:00～ 9:10 (10分) オリエンテーション</li> <li>・ 9:10～10:30 (80分) 講義「日本社会をとりまく多文化化現象について」</li> <li>・10:30～10:40 (10分) 休憩</li> <li>・10:40～12:10 (90分) 講義「異文化を理解するとは①理論から考える」</li> <li>・12:10～13:00 (50分) 昼食</li> <li>・13:00～14:00 (60分) 講義「異文化を理解するとは②トレーニングから考える」</li> <li>・14:00～14:10 (10分) 休憩</li> <li>・14:10～15:10 (60分) 講義「多文化共生という視点による教育～省察的実践者であることの重要性」</li> <li>・15:10～15:20 (10分) 休憩</li> <li>・15:20～16:20 (60分) 筆記試験</li> </ul>		
評価方法	筆記試験により、講義内容の理解度を評価する。		
連絡事項	特になし。		



区分	講習コード	講習名	開設日
選択必修	202	いじめに負けない幼児を育てる教材開発 －紙芝居教材の開発－	平成30年8月8日(水)
担当講師	大野木裕明 (仁愛大学人間生活学部子ども教育学科教授) 伊東 知之 (仁愛大学人間生活学部子ども教育学科教授)		
講習時間	9:00～16:20		
時間数	6時間		
受講料等	6,000円		
受講定員	40人		
主な受講対象者	幼稚園教諭、小学校教諭		
講習の 目標・ねらい	いじめをしない、いじめに負けない子どもを育てていくには、他者への配慮が発達的に未熟であっても幼児期から積極的に保育・教育していくことが重要でしょう。もちろん、それは容易ではないのですが、だからといって手をこまねいて良いはずもありません。この講習では、「幼児・低学年児童らに親しみやすいような紙芝居を通じて働きかけをすることが有効である」と位置づけて、各自で具体的に不登校の意味やいじめ防止の方途、教育相談のありかたを追及していきます。		
講習内容・ スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9:00～ 9:10 (10分) オリエンテーション</li> <li>・ 9:10～10:10 (60分) 物語文法の理論、昔話の話法</li> <li>・10:10～10:20 (10分) 休憩</li> <li>・10:20～11:20 (60分) 「さるかに合戦」の分析と構想</li> <li>・11:20～11:30 (10分) 休憩</li> <li>・11:30～12:20 (50分) 演習: 絵画技法と紙芝居構想</li> <li>・12:20～13:10 (50分) 昼食</li> <li>・13:10～15:10 (120分) 演習: 紙芝居の制作</li> <li>・15:10～15:20 (10分) 休憩</li> <li>・15:20～16:20 (60分) 作品発表と筆記試験</li> </ul>		
評価方法	筆記試験による講義内容の理解と制作物の仕上がりの程度を評価します。		
連絡事項	事前に「さるかに合戦」の物語を読んでおくことが望ましい。必要な画材等は全て大学で準備します。		

区分	講習コード	講習名	開設日
選択必修	203	道德教育の今日的課題	平成30年8月8日(水)
担当講師	高野 秀晴 (仁愛大学人間生活学部子ども教育学科准教授)		
講習時間	9:00~16:20		
時間数	6時間		
受講料等	6,000円		
受講定員	40人		
主な受講対象者	幼稚園教諭、小学校教諭、中学校教諭		
講習の 目標・ねらい	<p>今日、学校における道德教育は、大きく変わろうとしている。本講習では、「特別の教科 道德」の実施が決定するまでの経緯を追いながら、これからの時代に求められる道德教育のあり方について考察する。そのうえで、教材研究の進め方についても考える機会としたい。なお、教材研究については、主として小学校道德で用いられる教材を取り扱うこととする。</p>		
講習内容・ スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9:00~ 9:10 (10分) オリエンテーション</li> <li>・ 9:10~10:30 (80分) 道德をめぐる教育政策の動向</li> <li>・10:30~10:40 (10分) 休憩</li> <li>・10:40~12:10 (90分) 学習指導要領を読む</li> <li>・12:10~13:00 (50分) 昼食</li> <li>・13:00~14:30 (90分) 教材研究の進め方について</li> <li>・14:30~14:40 (10分) 休憩</li> <li>・14:40~15:10 (30分) 道德教育の今後の課題</li> <li>・15:10~15:30 (20分) まとめ</li> <li>・15:30~15:40 (10分) 休憩</li> <li>・15:40~16:20 (40分) 筆記試験</li> </ul>		
評価方法	講義に関する内容についての筆記試験の結果によって評価する。		
連絡事項	特になし。		

区分	講習コード	講習名	開設日
選択必修	204	学校における様々な問題への組織的対応と危機管理上の課題	平成30年8月9日(木)
担当講師	笠原 茂子 (仁愛大学人間生活学部子ども教育学科准教授)		
講習時間	9:00~16:20		
時間数	6時間		
受講料等	6,000円		
受講定員	40人		
主な受講対象者	幼稚園教諭、小学校教諭		
講習の目標・ねらい	<p>学校教育の質を高めるため、学校組織の特性とその組織の中堅の役割について再確認し、学校組織マネジメントについて理解を深める。更に各園学校の様々な問題について具体的に考え、組織的対応の必要性やそのあり方について理解する。学校における危機管理に対する基本的な考え方を理解し、学校における危機を分類し、児童生徒の保健・安全・給食に関する危機管理上の具体的課題について考える。</p>		
講習内容・スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9:00~ 9:10 (10分) オリエンテーション</li> <li>・ 9:10~10:30 (80分) 講義:学校組織の特性と中堅の役割について考え、組織マネジメントについて理解する。</li> <li>・10:30~10:40 (10分) 休憩</li> <li>・10:40~12:10 (90分) 講義:各園・学校の様々な問題と組織的対応の具体的事例を考える。</li> <li>・12:10~13:00 (50分) 昼食</li> <li>・13:00~14:00 (60分) 講義:学校における危機管理の基本的な考え方について理解する。</li> <li>・14:00~14:10 (10分) 休憩</li> <li>・14:10~15:10 (60分) 講義:学校でのリスク、クライシスマネジメント上の課題について考える。</li> <li>・15:10~15:20 (10分) 休憩</li> <li>・15:20~16:20 (60分) 筆記試験</li> </ul>		
評価方法	筆記試験により、講義内容の理解度を評価する。		
連絡事項	特になし。		

区分	講習コード	講習名	開設日
選択必修	205	学校・家庭・地域の連携・協働を考える	平成30年8月9日(木)
担当講師	青井 夕貴 (仁愛大学人間生活学部子ども教育学科准教授)		
講習時間	9:00~16:20		
時間数	6時間		
受講料等	6,000円		
受講定員	40人		
主な受講対象者	幼稚園教諭、小学校教諭		
講習の 目標・ねらい	子どもの育ちを支えるために、学校・家庭・地域が果たす役割などを整理し、なぜ互いに連携・協働していく必要性があり、どのような意義があるのかについて改めて確認する。それらを踏まえ、連携・協働を円滑に進めるためのネットワークや体制づくりへの理解を深める。		
講習内容・ スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9:00~ 9:10 (10分) オリエンテーション</li> <li>・ 9:10~10:30 (80分) 講義・演習「連携、協働など関連するキーワードを整理する」</li> <li>・ 10:30~10:40 (10分) 休憩</li> <li>・ 10:40~12:10 (90分) 講義・演習「地域にある社会資源を整理する」</li> <li>・ 12:10~13:00 (50分) 昼食</li> <li>・ 13:00~14:00 (60分) グループワーク「事例に基づいて連携・協働を考える(話し合い)」</li> <li>・ 14:00~14:10 (10分) 休憩</li> <li>・ 14:10~15:10 (60分) グループワーク「事例に基づいて連携・協働を考える(発表)」</li> <li>・ 15:10~15:20 (10分) 休憩</li> <li>・ 15:20~16:20 (60分) 筆記試験</li> </ul>		
評価方法	筆記試験により、講義内容の理解度を評価する。		
連絡事項	特になし。		

区分	講習コード	講習名	開設日
選択	301	音楽の世界 —理論と歴史から—	平成30年8月10日(金)
担当講師	中野 研也 (仁愛大学人間生活学部子ども教育学科准教授)		
講習時間	9:00~16:20		
時間数	6時間		
受講料等	6,000円		
受講定員	50人 (開講最少受講者数:10人以上)		
主な受講対象者	幼稚園教諭、小学校教諭		
講習の 目標・ねらい	幼稚園から中学校にかけて、必ず音楽の時間や授業があり、高等学校では選択科目の中に音楽が含まれている。それは、音楽が人間にとって「本源的」なものであるが故と考えられる。本講習では、さまざまな音楽を基礎的な音楽理論や歴史的背景を交えながら考察することで、学校や幼稚園等で子どもたちが触れる音楽がより豊かなものとなる事を目標とする。また、歌唱曲などの題材を用いて、伴奏や編曲についても触れてゆく。		
講習内容・ スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9:00~ 9:10 (10分) オリエンテーション</li> <li>・ 9:10~10:10 (60分) 保育・教育の場における音楽の役割と力</li> <li>・10:10~10:20 (10分) 休憩</li> <li>・10:20~11:50 (90分) 音楽の成り立ち~西洋音楽の理論を中心として</li> <li>・11:50~12:40 (50分) 昼食</li> <li>・12:40~14:00 (80分) 音楽の発展~西洋音楽の歴史を中心として</li> <li>・14:00~14:10 (10分) 休憩</li> <li>・14:10~15:30 (80分) 実践:子どものための音楽</li> <li>・15:30~15:40 (10分) 休憩</li> <li>・15:40~16:20 (40分) 筆記試験</li> </ul>		
評価方法	講義に関する内容についての筆記試験の結果によって評価する。		
連絡事項	特になし。		

## 講習概要

区分	講習コード	講習名	開設日
選択	302	給食経営管理・食品衛生について	平成30年8月10日(金)

担当講師	樽井 雅彦 (仁愛大学人間生活学部健康栄養学科教授) 野村 卓正 (仁愛大学人間生活学部健康栄養学科准教授)
講習時間	9:00~16:10
時間数	6時間
受講料等	6,000円
受講定員	40人
主な受講対象者	小学校教諭、栄養教諭
講習の 目標・ねらい	給食運営の組織体(学校など)の理念に基づき、より良い製品(給食)・サービスを顧客(利用者)に提供するために、必要な資源(人材、食材、資金、設備、技術など)を活用して生産過程やシステムの円滑化・安全化を図り、評価・改善などを実践する活動である。その基礎的な概念について学ぶ。また、食品安全基本法の理念を理解し、食品衛生行政機関が提供している情報を正しく理解して食品の消費活動に反映していく方法について考える。
講習内容・ スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9:00~ 9:10 (10分) オリエンテーション</li> <li>・ 9:10~10:30 (80分) 講義「給食経営管理を理解する」(担当教員 樽井雅彦)</li> <li>・ 10:30~10:40 (10分) 休憩</li> <li>・ 10:40~12:10 (90分) 講義「給食の衛生管理について」(担当教員 樽井雅彦)</li> <li>・ 12:10~13:00 (50分) 昼食</li> <li>・ 13:00~14:30 (90分) 講義「食品の安全情報を正しく理解するために」(担当教員 野村卓正)</li> <li>・ 14:30~14:40 (10分) 休憩</li> <li>・ 14:40~16:10 (90分) 筆記試験と解説(講義内容についての試験及び解説)</li> </ul>
評価方法	講義に関する内容についての筆記試験の結果によって評価する。
連絡事項	特になし。

区分	講習コード	講習名	開設日
選択	303	星とのコミュニケーション -子どもたちの天体に対する興味・関心に応えるために-	平成30年8月17日(金)
担当講師	宮川 祐一 (仁愛大学人間学部コミュニケーション学科教授)		
講習時間	14:00~21:10		
時間数	6時間		
受講料等	6,000円		
受講定員	25人(開講最少受講者数:10人)		
主な受講対象者	主に小学校教諭(幼稚園教諭も可)		
講習の 目標・ねらい	<p>小学校4年生では、天文に関する単元「夏の星」、「月や星の動き」、「冬の星」、6年生では「太陽と月の形」がある。しかし、これらの学習には、①昼間は星が見えない②天候に左右される③教師の苦手意識という3つの困難があるとされている。</p> <p>この講習では、実習(星座早見盤の製作、望遠鏡の組立と操作、天体観測)を織り込んで星の学習指導ができるようになることを目指す。</p>		
講習内容・ スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・14:00~14:10 (10分) オリエンテーション(事前アンケート)</li> <li>・14:10~15:00 (50分) 講義「地球と月・太陽の動き」</li> <li>・15:00~15:30 (30分) 教材製作</li> <li>・15:30~15:40 (10分) 休憩</li> <li>・15:40~17:10 (90分) 講義「望遠鏡の仕組み・選び方・活用法、まとめと試験」</li> <li>・17:10~18:00 (50分) 夕食、場所移動</li> <li>・18:00~19:00 (60分) 演習「望遠鏡の組立と設置(日没前に完了させる)」</li> <li>・19:00~20:00 (60分) 演習「月と惑星の観察(望遠鏡の操作、デジカメでの撮影と教材化)」</li> <li>・20:00~20:10 (10分) 休憩</li> <li>・20:10~20:40 (30分) 演習「夏の星座の観察」</li> <li>・20:40~21:10 (30分) 機材の後片付け、修了アンケートなど</li> </ul>		
評価方法	講義に関する内容についての筆記試験の結果によって評価する。		
連絡事項	<p>夜間の野外実習に適した服装 夕食(外食は避けてください) 天体望遠鏡(学校備品等)なければ双眼鏡、懐中電灯、屋外用折りたたみ椅子 工作用品(はさみ、カッター) デジカメと三脚(持っている方) なお、悪天候の場合、室内での実習となります。 終了時間について機材の後片付けの進み具合によっては21:30までかかる場合があります。</p>		

区分	講習コード	講習名	開設日
選択	304	子どもの運動と食育の実践	平成30年8月17日(金)

担当講師	佐藤 真実 (仁愛大学人間生活学部健康栄養学科准教授) 出村 友寛 (仁愛大学人間生活学部子ども教育学科講師)
講習時間	9:00~16:20
時間数	6時間
受講料等	6,000円
受講定員	40人 (開講最少受講者数:10人)
主な受講対象者	栄養教諭、幼稚園教諭
講習の 目標・ねらい	「運動」では、子どもの運動遊びと体力の発達について学ぶとともに、自身の体力測定を行い、結果を分析評価する。 「食育の実践」では、子どもが食べものに興味をもつための簡単な実験とそれを楽しむための調理実習について手法を学ぶ。
講習内容・ スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9:00~ 9:10 (10分) オリエンテーション</li> <li>・ 9:10~10:00 (50分) 「子どもの運動遊びと体力」(担当教員 出村友寛)</li> <li>・10:00~10:10 (10分) 休憩</li> <li>・10:10~11:40 (90分) 「体力測定とその評価」(担当教員 出村友寛)</li> <li>・11:40~11:50 (10分) 休憩</li> <li>・11:50~12:20 (30分) 筆記試験</li> <li>・12:20~13:00 (40分) 昼食</li> <li>・13:00~14:30 (90分) 「食べものを知る(簡単な実験)」(担当教員 佐藤真実)</li> <li>・14:30~14:40 (10分) 休憩</li> <li>・14:40~15:40 (60分) 「子どもが作る・調理する(調理実習)」(担当教員 佐藤真実)</li> <li>・15:40~15:50 (10分) 休憩</li> <li>・15:50~16:20 (30分) 筆記試験</li> </ul>
評価方法	出村担当:自身の体力測定を実施し、その結果を分析したワークシートと筆記試験をもとに評価する。 (体力測定の結果は評価の対象にはしない) 佐藤担当:実験・実習に参加しながら、結果・考察・学んだことをワークシートに記入する。 そのワークシートと筆記試験をもとに評価する。
連絡事項	出村担当:運動のできる服装、体育館シューズを持参すること。 佐藤担当:エプロン・三角巾・タオル・筆記用具・あれば室内シューズ



区分	講習コード	講習名	開設日
選 択	305	幼小接続を視野に入れた理科・算数科の授業	平成30年8月20日(月)
担当講師	木曾 利雄 (仁愛大学人間生活学部子ども教育学科教授) 西出 和彦 (仁愛大学人間生活学部子ども教育学科准教授)		
講習時間	9:00~16:20		
時間数	6時間		
受講料等	6,000円		
受講定員	40名 (開講最少受講者数:10人)		
主な受講対象者	幼稚園教諭、小学校教諭		
講習の 目標・ねらい	<p>幼児期の教育から児童期の教育への移行に関して様々な問題が生じている。本講座では、この幼小接続の問題に対して、理科・算数科に関する活動を通して改善策について考える。何を問題としてとらえ、どのように解決したらよいか。様々な意見を通して、幼小接続に関する問題についてより深く考え、理解を深め、それぞれの今後の教育活動に反映させることを本講座の目標・ねらいとする。</p>		
講習内容・ スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9:00~ 9:10 (10分) オリエンテーション</li> <li>・ 9:10~10:30 (80分) 講義「小学校の算数教育について考える」</li> <li>・10:30~10:40 (10分) 休憩</li> <li>・10:40~12:10 (90分) 講義「小学校の理科教育について考える」</li> <li>・12:10~13:00 (50分) 昼食</li> <li>・13:00~14:00 (60分) 演習「幼小接続に関する算数科の課題について考える」</li> <li>・14:00~14:10 (10分) 休憩</li> <li>・14:10~15:10 (60分) 演習「幼小接続に関する理科の課題について考える」</li> <li>・15:10~15:20 (10分) 休憩</li> <li>・15:20~16:20 (60分) 筆記試験</li> </ul>		
評価方法	筆記試験や演習の結果を総合的に評価する。		
連絡事項	特になし。		

区分	講習コード	講習名	開設日
選択	306	食育を支える科学的根拠と実践のための理論と方法	平成30年8月20日(月)
担当講師	山本 浩範 (仁愛大学人間生活学部健康栄養学科教授)		
講習時間	9:00～16:10		
時間数	6時間		
受講料等	6,000円		
受講定員	50人		
主な受講対象者	幼稚園教諭、小学校教諭、中学校教諭、栄養教諭、栄養職員		
講習の目標・ねらい	本講座は、食育を実施する小学校および中学校教諭、栄養教諭、栄養職員、幼稚園教諭向けの講習である。食生活の乱れや肥満・痩身傾向などの問題を背景に食育を支える科学的根拠について最新情報を交えて解説する。それらを基礎として、小中学校における食育を実施するうえで必要となる理論と実践例について具体例をもとに紹介する。		
講習内容・スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9:00～ 9:10 (10分) オリエンテーション</li> <li>・ 9:10～10:30 (80分) 講義「食育を支える科学的根拠」</li> <li>・10:30～10:40 (10分) 休憩</li> <li>・10:40～12:10 (90分) 講義「学校における食育の基本」</li> <li>・12:10～13:00 (50分) 昼食</li> <li>・13:00～14:30 (90分) 講義「学校における食育の実践」</li> <li>・14:30～14:40 (10分) 休憩</li> <li>・14:40～16:10 (90分) 筆記試験と解説(講義内容についての試験及び解説)</li> </ul>		
評価方法	講義に関する内容についての筆記試験の結果によって評価する。		
連絡事項	特になし。		

区分	講習コード	講習名	開設日
選択	307	“気がかりな子ども”を心理学的に考える	平成30年8月22日(水)

担当講師	森 俊之 (仁愛大学人間学部心理学科教授) 久保 陽子 (仁愛大学人間学部心理学科准教授)
講習時間	9:00～16:20
時間数	6時間
受講料等	6,000円
受講定員	40人 (開講最少受講者数:10人)
主な受講対象者	幼稚園教諭、小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭、養護教諭
講習の 目標・ねらい	学校現場において、“気がかりな子ども”への対応には様々な工夫がなされている。これまでの教育的アプローチに、臨床心理学的アプローチを加え、より複合的な視点から捉えることは、より適切な対応を考える上でも大切である。本講習では、いくつかの臨床心理学的アプローチの基礎を講義と演習を通して理解し、自身の関わっている問題について複眼的な考察ができるようになることをめざす。
講習内容・ スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9:00～ 9:10 (10分) オリエンテーション</li> <li>・ 9:10～10:30 (80分) 環境と行動から心理を考える①</li> <li>・10:30～10:40 (10分) 休憩</li> <li>・10:40～12:10 (90分) 環境と行動から心理を考える②</li> <li>・12:10～13:00 (50分) 昼食</li> <li>・13:00～14:00 (60分) 遊びから心理を考える①</li> <li>・14:00～14:10 (10分) 休憩</li> <li>・14:10～15:10 (60分) 遊びから心理を考える②</li> <li>・15:10～15:20 (10分) 休憩</li> <li>・15:20～16:20 (60分) 筆記試験と講義についての意見交換</li> </ul>
評価方法	講義に関する内容についての筆記試験の結果によって評価する。
連絡事項	演習を行いますので、汚れてもよい服装を準備すること。

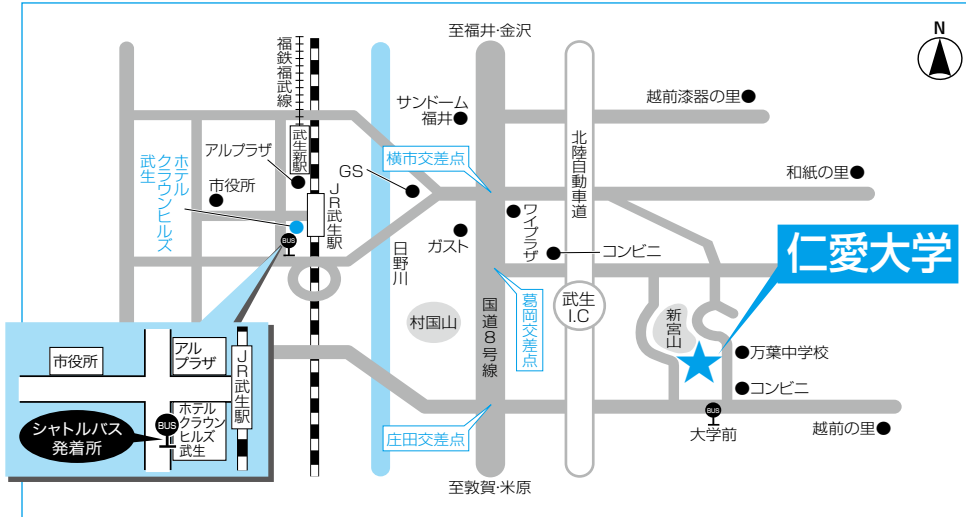
区分	講習コード	講習名	開設日
選択	308	幼小連携教育における表現の基礎	平成30年8月22日(水)
担当講師	伊東 知之 (仁愛大学人間生活学部子ども教育学科教授) 柿本 真代 (仁愛大学人間生活学部子ども教育学科講師)		
講習時間	9:00～16:20		
時間数	6時間		
受講料等	6,000円		
受講定員	50人 (開講最少受講者数:10人)		
主な受講対象者	幼稚園教諭、小学校教諭		
講習の 目標・ねらい	発達過程における幼児・児童期を見据え「自ら考え、判断し、表現する力を育む」ため、造形表現では幼児期から児童期へとつながる子どもの発達段階をふまえた造形表現活動について知識や技能を実践的に体得する。また、幼児・児童期に欠かせない文化財である絵本の表現について、その構造を理解するとともに、様々な角度から絵本表現を分析・理解する方法について理論的、実践的に導く。		
講習内容・ スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9:00～ 9:10 (10分) オリエンテーション</li> <li>・ 9:10～10:10 (60分) 造形表現の理論と実践①</li> <li>・10:10～10:20 (10分) 休憩</li> <li>・10:20～11:20 (60分) 造形表現の理論と実践②</li> <li>・11:20～11:30 (10分) 休憩</li> <li>・11:30～12:30 (60分) 絵本表現の理論と実践①</li> <li>・12:30～13:20 (50分) 昼食</li> <li>・13:20～14:20 (60分) 絵本表現の理論と実践②</li> <li>・14:20～14:30 (10分) 休憩</li> <li>・14:30～15:00 (30分) まとめ</li> <li>・15:00～16:20 (80分) テスト・レポート作成・提出</li> </ul>		
評価方法	2講座を踏まえて、それぞれテスト・小レポートを作成し提出する。 それら各講座ごとの評価を取りまとめ、総合的に評価する。		
連絡事項	特になし。		

区分	講習コード	講習名	開設日
選択	309	表計算ソフトの活用による校務の効率化	平成30年8月23日(木)
担当講師	籠谷 隆弘 (仁愛大学人間生活学部子ども教育学科教授)		
講習時間	9:00~16:20		
時間数	6時間		
受講料等	6,000円		
受講定員	40人 (開講最少受講者数:10人)		
主な受講対象者	幼稚園教諭、小学校教諭、中学校教諭		
講習の 目標・ねらい	幼稚園や小学校の様々な校務を効率化するためには、ICTの利用が欠かせない。特に表計算ソフトを活用する基本的な計算や可視化はもとより、大量のデータを対象とした検索・抽出、分類・集計などは、必要不可欠である。講習を通してこれらの技術を習得し、業務の改善につなげる。 本講習は、1人1台ずつパソコンを利用して演習形式で行う。		
講習内容・ スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9:00~ 9:10 (10分) オリエンテーション</li> <li>・ 9:10~10:30 (80分) 表計算ソフトの基本操作・計算</li> <li>・10:30~10:40 (10分) 休憩</li> <li>・10:40~12:10 (90分) データの可視化</li> <li>・12:10~13:00 (50分) 昼食</li> <li>・13:00~14:00 (60分) データの並べ替え・フィルタリング</li> <li>・14:00~14:10 (10分) 休憩</li> <li>・14:10~15:10 (60分) データの集計・復習</li> <li>・15:10~15:20 (10分) 休憩</li> <li>・15:20~16:20 (60分) 実技試験</li> </ul>		
評価方法	パーソナルコンピュータを用いた実技試験(表の作成と可視化、データ集計等)を行う。		
連絡事項	パーソナルコンピュータの基本的操作(文字の入力・編集、ファイル操作、マウス操作)が行えることを前提とする。 Microsoft社のExcelを用いる。		

区分	講習コード	講習名	開設日
選択	310	健康・栄養情報を理解するための講座 ～食品の消化について～	平成30年8月24日(金)
担当講師	池田 涼子 (仁愛大学人間生活学部健康栄養学科准教授) 石黒真理子 (仁愛大学人間生活学部健康栄養学科講師)		
講習時間	9:00～16:10		
時間数	6時間		
受講料等	6,000円		
受講定員	36人		
主な受講対象者	小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭、栄養教諭、栄養職員		
講習の 目標・ねらい	子どもたちが豊かな人間性をはぐくみ、生きる力を身につけていく学びの基は「食」にある。栄養・食教育の基本となる「栄養学」はものを食べ、消化し、栄養素が体に吸収されることから始まる。本講座では、食べ物が消化される過程について科学的手法と実践的な視点を通して深く学ぶとともに、食物アレルギーが起こる生体のしくみについて考える。		
講習内容・ スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9:00～10:00 (60分) 講義「食物アレルギーの概要」(担当教員 池田涼子)</li> <li>・ 10:00～11:30 (90分) 実験①「たんぱく質の消化」(担当教員 池田涼子・石黒真理子)</li> <li>・ 11:30～12:30 (60分) 昼食</li> <li>・ 12:30～15:00 (90分) 実験②「消化によって生じたもの」(担当教員 石黒真理子) ※まとめ・片付けを含む</li> <li>・ 15:00～15:10 (10分) 休憩</li> <li>・ 15:10～16:10 (60分) 筆記試験</li> </ul>		
評価方法	講義内容に関する筆記試験の結果により評価する。		
連絡事項	白衣・上履き必要		

区分	講習コード	講習名	開設日
選択	311	歴史的視座から「日記」教育を考える	平成30年8月24日(金)
担当講師	柿本 真代 (仁愛大学人間生活学部子ども教育学科講師)		
講習時間	9:00~16:30		
時間数	6時間		
受講料等	6,000円		
受講定員	50人 (開講最少受講者数:10人)		
主な受講対象者	小学校教諭、中学校教諭		
講習の 目標・ねらい	日本では日記をつけることが児童や生徒の課題としてしばしば設定される。このような教材としての日記の活用は、日本では明治時代から行われてきた。本講習では、日記をつけることの価値がどのように考えられ、教材として定着にいたったのか、またその指導はどのように行われ、どのような問題を孕んでいたかなどを歴史的視座から検討することを通して、これからの学校現場における日記の活用についての方途を模索する。		
講習内容・ スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9:00~ 9:10 (10分) オリエンテーション</li> <li>・ 9:10~10:00 (50分) ディスカッション~自身の日記経験と日記指導について</li> <li>・10:00~10:10 (10分) 休憩</li> <li>・10:10~11:10 (60分) 近代の日記文化について</li> <li>・11:10~11:20 (10分) 休憩</li> <li>・11:20~12:20 (60分) 明治期の学校教育と日記</li> <li>・12:20~13:10 (50分) 昼食</li> <li>・13:10~14:10 (60分) 日本の日記教育とその問題</li> <li>・14:10~14:20 (10分) 休憩</li> <li>・14:20~15:20 (60分) まとめ~これからの日記教育を考える</li> <li>・15:20~15:30 (10分) 休憩</li> <li>・15:30~16:30 (60分) 筆記試験</li> </ul>		
評価方法	講義に関する内容についての討論や筆記試験の結果によって評価する。		
連絡事項	特になし。		

## 本学へのアクセス



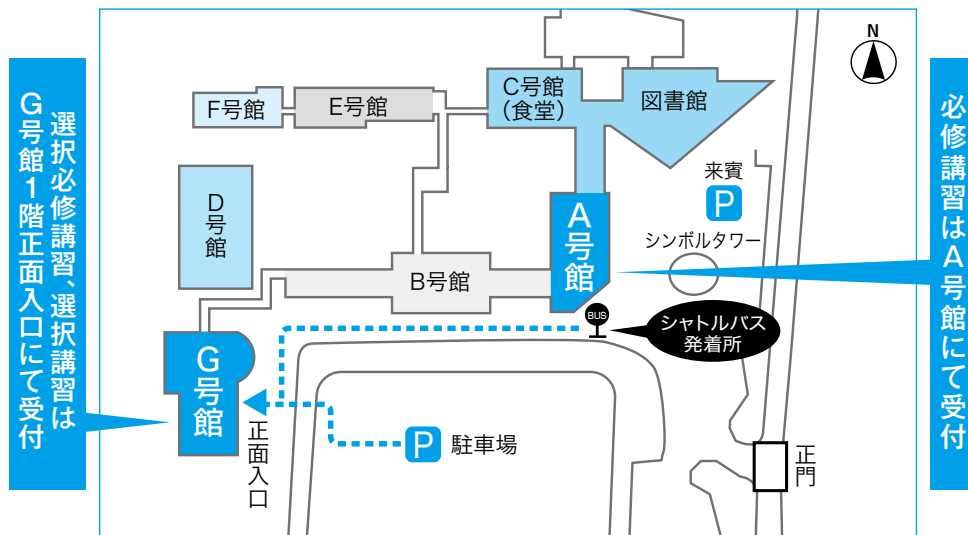
### 無料シャトルバス 運行

■当日は、JR武生駅前(ホテルクラウンヒルズ武生)より本学行きの無料シャトルバスを運行します。(大学まで15分)  
●JR武生駅前(ホテルクラウンヒルズ武生) 発 8:35 ●仁愛大学発 16:40, 18:05

### お車の方

■武生インターから5分 ■国道8号線より車でお越しの場合は、武生インターを過ぎて500m、最初の信号を右折してください。【駐車場は大学構内にあります】

## 学内見取り図







MEMO

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



お問い合わせ先

# 仁愛大学

教員免許状更新講習係

**TEL 0778-27-2026** (直通)

FAX 0778-27-8660 Eメール [g101@jindai.ac.jp](mailto:g101@jindai.ac.jp)

URL <http://www.jindai.ac.jp>

〒915-8586 福井県越前市大手町3-1-1